



岡山市連合町内会会報

題字：兼松久和

発行人：兼松 久和 〒700-8544 岡山市大供1丁目1-1 TEL：086-803-1031 FAX：086-803-1744 編集人：片山 晋

「岡山市連合町内会会報」第十号の発刊に寄せて

岡山市連合町内会
会長 兼松 久和



平素は
岡山市連

灯火親しむころとなりましたが、町内会の皆様におかれましては益々ご清栄のことと、拝察申し上げます。平素は岡山市連合町内会の運営及び活動に多大なご支援とご理解を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、平成の大合併による全国的な地方自治体の再編は一段落した感があり、これから地方分権は新たな時代に突入し、地方自治のあり方が一層厳しく問われる状況となっております。

このような時代において、住民自治組織が果たす役割はますます重要になりつつあります。

市民生活をとりまく状況は、依然として厳しいものがあります。住み良い地域社会の構築のために、崇高なボランティア精神を発揮し、地域リーダーとしての自覚のもと、より一層の研鑽と努力を積み重ね、お互いに資質の向上を図ることで、地域住民の多様なニーズに的確に応えなければなりません。

このような考え方を念頭に置き、今年度は、組織のより一層の充実を図るため、組織強化検討委員会、町内会問題審議会等五つの専門委員会を設け、当会の存在感を内外に示すべく、核心に触れた検討を進めてまいります。これら内部の委員会に加え、行政の主催する審議会・委

員会等には、三十三名の理事がそれぞれ何らかの役割を担い、当会を代表して活躍していただくこととしました。

さらに、広報活動のより一層の充実を図るため、今年度から本紙会報を年二回発行します。発行の原資については協賛企業を募りましたところ、多くの賛同をいただきました。ご協力くださった企業の皆様にはこの場を借りて心から感謝申し上げます。

去る五月三十日、自由民主党政務調査会からの要請で、地方行政調査会に出席いたしました。地縁団体の代表に発言の機会を与えていただいたことに感謝するとともに、委員の方々が、全国津々浦々まで組織されている町内会・自治会の役割の大きさをしっかりと認識されていることを知り、これから本当の意味で「地方の時代」になるという予感がしました。

地方行政調査会のこのような取り組みを受け、秋の臨時国会に、国・地方自治体等が町内会などの地域活動を支援する「コミュニティ基本法」(仮称)案が議員立法として上程されるようです。

この立法によって、地域活動の社会的な位置づけはさらに引き上げられるはずです。

このことは町内会長の地域活動に対する地道な努力の成果であると言えるでしょう。

「地域力」という言葉とともに昨今町内会・自治会等の住民自治組織の社会的評価は向上しております。町内会・自治会に携わってきたものとして、これに勝る喜びはありません。しかし

ながら、我々への期待が大きくなる分だけ、逆にその責務も大きくになると言わざるを得ません。自治会の活動が、そのまま「地域の力」に反映されると言っても過言ではないでしょう。

地域のニーズが多様多様化するに伴い、町内会の役割も益々大きくなることは必定であります。

当会としては、良好な地域社会の維持及び形成のため、地域における諸団体を統括・調整し地域の安全・安心の確保に努めるとともに、オピニオンリーダーとして各種審議会等にも人材を送り込み、岡山市のまちづくりにも参画するなど、引き続き積極的な活動を展開していきたく考えております。今後ともより一層のご支援とご協力をいただきますようお願いいたします。

終わりになりましたが、関係各位のご健勝と、協賛企業のままますのご発展を祈念いたしまして、発刊に寄せる言葉といたします。

五月三十日(水)自由民主党政務調査会からの要請により、兼松会長が、自由民主党本部で開催された地方行政調査会「地域力及び地域の教育力に関する勉強会」に出席しました。兼松会長は、全国自治会連合会会長として、町内会、自治会等の現状、役割、課題等について、以下のとおり説明しました。

①各町内会長、自治会長は、互いに資質の向上を図り、相互扶助の精神のもと、市民の多様なニーズに的確に対応していかねければならず、日夜寸暇をさい

地方行政調査会について

また、災害時の個人情報取扱については、当然、町内会長等が把握しておく必要があるとご意見をいただきました。

六月四日に自民党地方行政調査会の太田誠一会長から、町内会等の地域活動を支援する「コミュニティ基本法(仮称)」案



地方行政調査会
【右】太田 誠一-地方行政調査会会長

の制定等地域社会の再生に向けて提言書が内閣総理大臣に提出されています。このことは、我々にとって大変大きな励みであります。

社会福祉法人 中央共同募金会へ 要望を行いました

各町内会の皆様におかれましては、毎年、共同募金活動への協力には大変苦勞しておられることと存じます。ご承知のとおり共同募金総額の八割は、町内会が集めており、まさに町内会は共同募金活動の中核をなしていると言えます。しかし、集まった募金の配分については蚊帳の外であり、関与することができません。また、今の共同募金のしくみは、終戦直後に創設されたものであり、制度疲労を起していることは否めません。

こうした問題は、全国自治会連合会でも取り上げられ、協議した結果、中央共同募金会に対し、現行制度の見直し等について要望するという結論に達しました。そして、昨年十月三十日に、全国自治会連合会の会長を務める兼松久和岡山市連合町内会会長が他の役員とともに中央共同募金会を訪問し、現行制度の見直し等を早急に行うよう強く要望しております。

折しも、中央共同募金会においては、制度創設六十周年を契機に、同会内に企画・推進委員会を設置し、これからの共同募金のあり方について検討を始めるところであり、全国自治会連合会としては、当会が要望した趣旨を十分踏まえた上で議論を

行い、結論を出すよう申し入れ
ているところだ。

その結果、今年五月、中央共
同募金会企画・推進委員会にお
いて一定の結論が得られ、答申
書が提出され、答申書の中で、今
後、各都道府県共同募金会内に
市町村共同募金委員会を設置し
その委員には、地域で活動する
幅広い方々に参画してもらおうこ
ととなり、当然、町内会、自治
会等からも委員として参画する
ことになっております。

しかし、このことは、ひとま
ず我々が共同募金のあり方につ
いて主張する機会を得たに過ぎ
ません。今後、地域において最も
汗をかかれています町内会の皆様
のご労苦に報いるためにも、こ
の機会を有効に活用し、町内会
の皆様の見解を聴きながら、中央
及び地方の共同募金会に対し、し
っかりと意見を述べていきたい
と思っておりますので、ご協力いた
だきますようお願いいたします。

平成十九年度 定期総会

岡山市連合町内会は、平成十
九年六月一日午前十時からメル
パルク岡山において、市内学区・
地区連合町内会長八十名の出席
のもと、平成十九年度定期総会
を開催いたしました。

はじめに、兼松久和会長があ
いさつを述べた後、岡山市連合
町内会表彰規程に基づき、長年
町内会活動に功績のあった方々に
対し、兼松会長から表彰状、感
謝状及び記念品の贈呈が行われ
ました。

続いて、高谷茂男岡山市長及
び宮武博岡山市議会議長から祝
辞をいただいた後、議案の審議
に入りました。



岡山市連合町内会定期総会

- ①平成十八年度事業報告
- ②平成十八年度収支決算報告並
びに監査報告
- ③役員承認
- ④平成十九年度事業計画(案)
- ⑤平成十九年度収支予算(案)
- ⑥規約等の改正等

慎重に審議を行った結果、い
ずれの議案も原案どおり承認さ
れました。

●平成十九年度事業計画

- ①まちづくり等への支援
市審議会、委員会、協議会等
に出席し、まちづくり、福祉、環
境、教育、保健衛生、交通安全
など住民生活に直結する諸問題
について、住民代表として建設
的な意見を述べるとともに、地
域住民が自ら企画し参加する各
種イベントに参画・支援し、地
域活性化に中心的な役割を果た
していく。
- ②会員の資質の向上
審議会、委員会等への出席要
請の増加などを見ても、住民自治
組織の役割及び責任はますます
高まっております。我々としてもこ
れ
まで以上に組織の充実・発展を
図らなければなりません。そのため
にも会員がそれぞれより一層の
研鑽に努め、連携しつつ、資質
の向上を図ることが肝要である。

特に、今年度は第十九回全国
生涯学習フェスティバル「まな
びピア岡山2007」が開催さ
れる。こうした学びの機会を的
確に捉え、積極的に参加してい
くこととする。

③視察研修の実施
地域における望ましいリーダ
ーとしての視野を広めるともに
見識を高めるために、時宜を得
たテーマを設定し、先進都市の
住民自治組織の運営・活動状況
等の視察を行う。

④市長・教育長・市幹部との懇談
真に住民参加のまちづくりを
実現するため、市長・教育長・
市幹部との意見交換を行い、町
内会と行政との協力関係のより
一層の推進を図る。

⑤県知事・総務大臣との懇談
住民自治連合組織の活動に対
する理解・認識及び地位の向上
を求め、それぞれの組織的立場
から、県政・国政に対し積極的
に意見交換を行うとともに支援
要請を行う。

⑥産官学及び各種団体との交流・
連携
幅広い視野から地域づくりの
リーダーとしての活動を行うた
め、行政、経済界、教育界及び
ボランティア組織等の各種団体
との連携・交流・情報交換を進
める。

⑦姉妹交流提携
岡山市と鳥取市、姫路市は池
田侯爵の地であり、姉妹交流提
携を行っている鳥取市自治連合
会及び姫路市連合自治会との連
携を強化する。そのため、今年
度は、当会が幹事役としてさら
に関係を緊密にするために効果
的な交流行事に取り組むことと
する。

また、温故知新の観点から、岡
山藩の開祖である宇喜多家と姻
戚関係にある前田家を藩祖とす

る金沢市との姉妹交流提携に向
けた取り組みを行う。

⑧第二十六回全国都市緑化おか
やまフェアの開催への協力
岡山市は都市ビジョンの策定
にあたり、目指すべき都市像の
ひとつに「水と緑が魅せる心豊
かな庭園都市」を掲げ、平成二
十一年度の政令指定都市の実現
に向けた取り組みを行っている。
こうした中、時あたかも平成二十
一年三月から五月にかけて、第
二十六回全国都市緑化おかやま
フェアが開催され、岡山市が会
場となることから、同フェア開
催にあたり、当会がその中心的
な役割を果たすとともに、成功に
導くことが、岡山市が目指す「水
と緑が魅せる心豊かな庭園都市」
づくりにつながるものと認識の
もと、実行委員会への参画や先進
地視察の実施等により効果的な
取り組みを行う。

⑨岡山県自治会連合会・全国自
治会連合会の活動
岡山市連合町内会が中心とな
り、組織の拡充を図るため未加
入市町村へ加入促進活動を行う。
また全国自治会連合会中四国自
治会連絡協議会総会等に積極的
に参加し、他組織との交流、連
携を深める。

⑩市民情報化の推進
市民情報化及び電子町内会の
拡大・推進を図る。

⑪広報・広聴活動の充実
広報紙「岡山市連合町内会会
報」の年二回の発行等広報活動
の充実を図るとともに、女性町内
会長等からの意見を広く聴き、組
織運営に活用する。

⑫顕彰の実施
会長表彰・感謝状の贈呈のほ
か、藍綬褒章、総務大臣表彰、国
務大臣防災担当表彰、国家公安
委員会委員長表彰、全国自治会
連合会長表彰、県知事表彰、岡

山市有功表彰、市長表彰や民間
の顕彰制度に幅広く推薦を行い
功績を讃える。

⑬防犯・防災組織の確立
住民自治組織の防犯・防災活
動の有効性に鑑み、電子町内会
等を活用しながら、同組織にお
ける防犯・防災組織の確立を図
るとともに充実に努め、安全・
安心のまちづくりを強力に推進
する。

⑭合併地域との連携の強化
御津、灘崎、建部及び瀬戸の
住民自治組織との意見交換会を
開催するなど、合併地域との連
携を強化する。

⑮JR岡山・姫路駅間への快速
電車の導入についての取り組み
瀬戸・上道地域振興推進協議
会からの要望を受け、岡山市民の
利便性の向上等の観点から、姫路
市連合自治会と連携しつつ、JR
岡山・姫路駅間への快速電車の
導入について関係機関に働きか
けを行うなどの取り組みを行う。

⑯住民自治組織への加入の促進
住民自治組織の有効性、重要
性等から町内会未加入者へ積極
的な加入促進活動を行う。

●新役員のお知らせ
平成十九年度定期総会におい
て、次のとおり新役員が承認さ
れました。

会 長	兼松 久和
副 会 長	片山 晋
常 任 理 事	遠藤 太郎
岡 恒夫	那須 友也
森本 享	西谷 萬二
木元 淳介	黒住 小弥太
理 事	赤木 實男
廣田 省吾	上林 道典
	中川 和彦

世界三大サーカス

木下大サーカス

Super Miracle Illusion ★ Kinoshita Circus

本社 〒700-0822 岡山市表町3-23-23 <http://www.kinoshita-circus.co.jp> e-mail:webmaster@kinoshita-circus.co.jp

佐藤 芳範	岡村 耕輔	松井 猪八郎	永見 勝	深井 忠夫	國富 雅之	小川 晃一	藤原 浩	太田 皓義	近藤 志津雄	則安 基直	河内 操	池田 太郎	荒木 弘之	原田 潤作		監事	吉森 旭	村田 智美	横山 洋	秋山 卓一
-------	-------	--------	------	-------	-------	-------	------	-------	--------	-------	------	-------	-------	-------	--	----	------	-------	------	-------

なお、同日開催された理事会において岩田章氏の相談役就任が承認されました。

●岡山市連合町内会専門委員会等委員のお知らせ

当会専門委員会等委員について、次のとおり決定いたしました。

町内会問題審議会	遠藤 太郎 (委員長)	黒田 智昭 (副委員長)	那須 友也	河内 操	荒木 弘之	IT専門委員会	横山 洋 (委員長)	吉森 旭 (副委員長)	小川 晃一	村田 智美	佐藤 芳範	電子町内会連絡協議会	小川 晃一 (会長)	吉森 旭 (副会長)	廣田 省吾	岡村 耕輔	那須 友也	村田 智美	横山 洋	森本 享	西谷 萬二	佐藤 芳範	木元 淳介	秋山 卓一	会報第十号編集委員会	片山 晋 (委員長)	塩飽 幹廣 (副委員長)	赤木 實男	國富 雅之	池田 太郎	吉田 勝則	会報広告取扱等検討委員会	片山 晋 (委員長)
----------	-------------	--------------	-------	------	-------	---------	------------	-------------	-------	-------	-------	------------	------------	------------	-------	-------	-------	-------	------	------	-------	-------	-------	-------	------------	------------	--------------	-------	-------	-------	-------	--------------	------------

森本 享 (副委員長)	兼松 久和	黒田 智昭	遠藤 太郎	岡 恒夫	那須 友也	西谷 萬二	木元 淳介	黒住 小弥太	横山 洋	藤原 浩	姉妹交流提携推進委員会	片山 晋 (委員長)	黒田 智昭 (副委員長)	遠藤 太郎 (副委員長)	兼松 久和	JR快速電車導入促進期成会	横山 洋 (会長)	村田 智美 (副会長)	片山 晋	兼松 久和	藤原 浩	岡山市連合町内会組織強化検討委員会	木元 淳介 (委員長)	上林 道典 (副委員長)	松井 猪八郎	深井 忠夫	近藤 志津雄	平成十九年八月二十二日現在
-------------	-------	-------	-------	------	-------	-------	-------	--------	------	------	-------------	------------	--------------	--------------	-------	---------------	-----------	-------------	------	-------	------	-------------------	-------------	--------------	--------	-------	--------	---------------

学区・地区の動き

安全・安心のまちづくり
「災害は忘れたころにやってくる」

石井学区は、再開発事業、新岡山駅西口広場そして都市計画道路等の整備が進み街の様相が大きく変貌して地域の活性化が期待される反面、ワンルームマンション等の集合住宅の入居者と地域住民との連帯の問題、学区内住民の三人に一人は災害弱者である高齢者であること、昭和三十七年の国体の際に整備された地域を除いて狭い道路に戦災を免れた比較的建築年次の古い建物が多くある等々の震災対策上の課題が多い地域である。

阪神淡路大震災では、倒壊した建物から救助された八万五千人の内約八十五%が近隣の人の助け合いによって救助されたといわれている。地域コミュニティの強い地域では、災害発生時にも素早い近隣の住民による救助活動が行われ、そして住民がまとまりやすく街の復興も早かったといわれている。小規模の災害では行政機関の救助が可能であるが、大規模な震災では行政機関も被災してしまい、通信手段の切断、道路の損壊そして倒壊家屋による道路の遮断等々のため、行政機関(警察、消防、自衛隊、他都市からの救助隊)からの早急な救助は望むべくもない。したがっていざとなつたときに頼れるのは、自分自身であり、そして近隣の人の助け合い、協力しかない。

石井学区では、これまでも町内会、社会福祉協議会をはじめとして各種団体の活動をとおりてコミュニティ意識の醸成に務めてきたところであるが、東南海・南海地震による大きな被害が想定されることから、今年度の連合町内会総会では単位町内会での自主防災組織づくり、防災研修会の開催、避難訓練、防犯パトロール活動、そうした事業に積極的に参加することを通して地域の連帯意識を深め、そして「自分たちの地域は自分たちで守る」を合い言葉に地域の实情に見合った防災組織の立ち上げを行った。

安心ネットワークの組織ができあがっておりますが、私どもの学区では現在準備の段階です。組織の立ち上げにネットワークになっているのが、資金面並びに労力の確保です。

子供達の安全はもとより、住民全員が安心して生活できる環境作りをどのようにするか、会議のたび議題になっております。三百数十年前池田藩主により、児島湾を潮止めしてできたあがつた干拓地なので、台風・高潮・長雨のたびに住民の心配が絶えません。地球温暖化の影響もあるのか、現在、児島湾・旭川の潮位が高くなり、児島湾へは常時冠水防除の排水ポンプが作動しております。

旭川・百間川堤防の決壊を一番心配しております。万が一最悪の事態になれば、操山以南の地区は昔の海の状態となり、台風時のダム放流にも神経をとがらせております。

学区の緊急避難場所に、小学校の体育館が指定されておりますが、役にたちません。学区民全員が体育館に速やかに避難をすることは至難であり、また一階の体育館では意味がない。

そこで学区独自で自衛の手段を計画しており、学区内には養護老人ホーム・病院等高層建築の施設が五箇所あり、施設ともネットワークの一環として、防災協定を結び災害時に分散して、最寄りの施設を緊急避難場所として提供を受けられるよう、また逆に施設において地震・火災時には地域の住民が駆けつけ、入居者の避難のお手伝いをする、以上のような防災協定を準備しております。

住民が安心して生活できる学区づくり

操南学区連合町内会
会長 塩飽 幹廣

市内の殆どの学区で、安全・

豊学区は、吉井川の東に位置しています。地名のとおり吉井川が豊かにこの地域を潤してききました。

ところが、平成五年五月に岡山市より新産業ゾーン整備事業の基本計画が発表され、この計画によれば豊地区の調整区域約七十一haに企業団地、ごみ焼却施設、浄化センター等を総合的に整備するというものでした。

以来、幾多の紆余曲折があつたものの、どうにか今年度中には十九の企業・団体の立地・操業が全て完了することとなりました。

このように、環境が大きく様変わりしたなかで、地域活性化の一環として学区民総参加の手創りの「夏祭り」を実施するようになりました。

今年度は、はや九回目となり、八月四日の夕方より小学校グラウンドで開催されました。

お祭りの出し物は、小学生チームのロックソーラン節やうらじゃ踊り、親子クラブ・幼児園児の子供盆踊り、老若二つの生バ

し二十四時間いつでも、連絡ができるよう考えております。

また、学区内には東西に国道、南北に県道の幹線道路が交わることから、交通事故が多発するなど、交通問題も重要な課題であり、遊技場等も多々あることから防犯活動も無視できない状態です。

このような状況の中で、安心して生活できる学区づくりには、多大な資金が必要であり、このことをクリアするため、学区挙げて努力を重ねております。

学区民総参加の夏祭り
地域の活性化を目指す

豊学区連合町内会
会長 池上 正和

生活できる学区づくり

操南学区連合町内会
会長 塩飽 幹廣

生活できる学区づくり

操南学区連合町内会
会長 塩飽 幹廣

生活できる学区づくり

操南学区連合町内会
会長 塩飽 幹廣

介護付有料老人ホーム ゆばの郷

いよいよ12月新設オープン

「自然に囲まれたゆるやかな時間の中でやすらぎを感じてください。」

☆開設に伴い職員募集
☆入居者・デイサービス利用者募集

【概要】
□経営・運営主体/医療法人未来
□施設名/介護付有料老人ホーム ゆばの郷
□住所/岡山市湯迫字本手櫛236-1
□入所定員40名

お問合せ・資料請求は TEL.086-278-4600

ンド演奏、圧巻はヤグラを中心
に地区の老若男女で盛り上げる
盆踊りでお祭りはクライマックス
となりました。



小学生チームのロックソーラン節

一方会場の周囲は各町内会・
団体、新産業ゾーンの企業・団
体が出店する十八の屋台テント
がお祭りを一層引き立たせてい
ました。

ちなみに今年の参加人数は延
約二千五百人にのびりました。
なんとと言っても全てが地区民
の手創りであり、また新産業ゾ
ーン関連の企業・団体の方々と
共に実施したこの結末がこれか
らの学区の一層の活性化にもつ
ながっていくものと確信してい
ます。

さわやか健康ひろば

いっしょに福島

福島学区連合町内会

会長 深井 忠夫

福島学区は、岡山市の南の端
に位置し、児島湾、児島湖に面
した工業地帯、商業地区及び住
宅地が混在している地域です。
皆様の台所を預かる岡山市中央
卸売市場もあり、また、東宝シ
ネマタウン等もあります。こう
した色々な施設がありながら福
島学区は少子高齢化が進み小学

生も少なくなりりましたが、これ
からの福島を連合町内会で支え
ていくつもりです。

第二回福島地区ウォーキング
大会が平成十八年十一月二十六
日に開催されました。いつもど
どこでも気軽にできるウォーキ
ングは、運動不足、ストレス解
消、ダイエットに最適です。こ
の大会で子供からお年寄りまで
約二百五十人が気軽に参加され
自分の健康状態を知っていただ
きました。

コースについては岡南公民館
を出发し、Aコースは岡南大橋
を渡り折り返すコース、(約四・
五キロメートル/六十分) Bコ
ースは岡南大橋までの往復コー
ス(約三・四キロメートル/四十
分)と二コースを設定し体調に
合わせて歩きました。当日は天候
が思わしくなかったですが、そ
れでも大会中は何とか雨も降ら
ず成功のうちに終わることがで
きました。歩いた後には栄養委
員さんの手作りカレーライスを
食べ元気に大会を終えることが
できました。また、第三回のウ
ォーキング大会も今年度十一月
二十五日に予定しております。
現在、福島学区として「安全・
安心ネットワーク」を今年度立
ち上げる為の準備をしています。



第二回 ウォーキング大会

こうした取り組みを、遅まきなが
ら他の学区に劣ることなくこれ
から着実に実行していく覚悟です。

地域のイベントと

その思わぬ成果

吉備学区連合町内会

会長 木元 淳介

私共が日々生活する吉備学区
は嘗ては都窪郡吉備町と呼ばれ
ていました。そのことは古来よ
り備中分に属していたと言うこ
とに他なりません。そう言った
地域性の中、岡山市に合併して
はやワン・ゼネレーション以上
を経過致しました。意識するこ
との無いまま過ぎ去った長い月
日の中、予測もしない爆発的人
口の増加を経験し、その変化は
凄まじく、今日でも勢いは衰えて
いません。吉備地区全体で申し
ますと、昭和三十年代と比べる
と約三倍は控えめな数字です。
当然のことながら暮らし向きの
変遷と同時に、失われていった
習慣、地域の催し等に思いを馳
せますと今更ながら懐かしさが
こみ上げて参ります。

そういった時代の流れの或る
一時期に吉備学区連合町内会長
を務めることになり、一番に着
手したのが地域の特性を生かし
た催し「吉備・陵南まちかど博
物館」です。毎年秋の台風シー
ズも終わり、収穫も終えたバ
ストシーズンに開催しています。
当イベントの特長は、市民又は
単位町内会個々の自主発信型の
催しを主体として、それに由来
の古跡或いは法人等の催しを織
り込んだ、いわば従来型のイベ
ントの逆発想的催しとなっております。
その規模、内容、参加数
及び来場者数は年を追って拡張
しています。ここで特筆すべき
はイベントの「お手伝い」をし

て下さる方の人数が五百人にも
のぼること、このことは取りも
直さず吉備地区が嘗て無い連帯
性を得たと言うことに他なりま
せん。初期段階を終えた今後は
役員一同、内容の充実と普遍性
に注意を払うことを再確認しな
がら継続運営をするのみです。



吉備・陵南まちかど博物館

高田学区の夏

高田学区連合町内会

会長 荒木 弘之

高田学区は、岡山市西北部に
位置し、初夏の夜には、螢舞う
山紫水明の地域です。地域内
には、栄西禅師が得度(剃髪して
仏門に入る、出家)した寺で有名
な救世山安養寺、備中二宮鼓神
社にある国指定重要文化財の石造
宝塔、医王山薬師院上願寺の県
指定重要文化財の梵鐘がありま
す。世帯数は約五百ですが、少
子高齢化と人口減少の波は避け
られず、平成十九年度の高田小
学校の児童数は六十六名とな
りました。

このように静かな山村地域で
すが、高田学区の夏は燃えていま
す。六月二日(土)には、下高
田わらべ会主催(高田学区連合
町内会共催)による「ほたる祭り」
が実施され、優雅なほたるの舞

近くの大人が注意してくれたのは
いつの頃までだったろう。

未成年者の喫煙は大人が自覚し、
社会全体で取り組む問題です。
未成年者の喫煙は法律で禁じられています。

20歳まで
たばこは
吸わせない。

NO! UNDER 20

岡山商工会議所

会頭	岡崎 彬
副会頭	前坂 匡
副会頭	木谷 忠
副会頭	守屋 勝
副会頭	小山 秀
副会頭	若林 昭
副会頭	仁科 靖
副会頭	徳山 武
副会頭	士孝 吾

財団法人
淳風会健康管理センター

健康を支える

〒700-0913
岡山市大供2-3-1
TEL : (086) 226-2666
FAX : (086) 226-0370
<http://www.junpukai.or.jp>

地域とともに
新たな世紀へ

山陽新聞社

トヨタカロー岡山株式会社

代表取締役会長 有元 邦男

あなたのためのカローラ岡山

西日本調理製菓専門学校

〒700-0913 岡山市大供3-2-18
<http://motoyama-e.com>
TEL. 086-223-8822

岡山医療技術専門学校

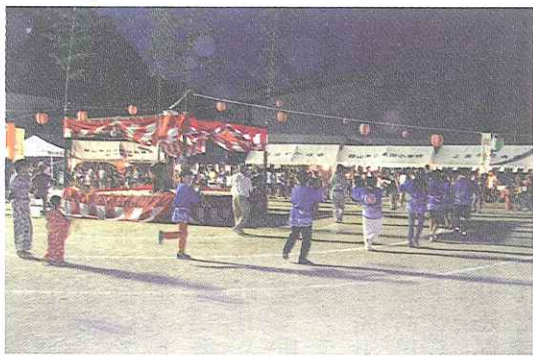
〒700-0913 岡山市大供3-2-18
<http://okayamaisen.com>
TEL. 086-233-8020

調理
力フェ
製菓
パン
理学
療法
作業
療法

御津にケーブルテレビが やって来る

御津地域区長会
会長 金光 照夫

御津地域は、面積が百十四km²あり、約八割が山間部です。そし



高田学区ふれあい夏祭り

いを、多数の見物客の方々が楽しめました。つづいて、七月二十七日(金)には、特別養護老人ホーム「憩いの丘」の盆踊り花火大会があり、近年は、従来伝えられていた「栄西踊り」が復活しました。

八月五日(日)には、高田学区コミュニティ協議会・連合町内会、実行委員会(日近わかば会・下高田わらべ会・上高田鼓会・山上栄山会)主催の第十九回高田学区ふれあい夏祭りがあり、こどもビンゴゲーム、盆踊り、宝さがしゲーム、花火大会等、地域住民中心に大勢の人の輪ができました。

さらに、八月十五日(水)には上高田地区鼓神社の夏祭り・花火大会、八月十六日(木)には、山上地区の夏祭り花火大会と続き、これらの諸行事を実施することにより、地域の親睦は深まり、結束の輪はますます強まることでしょう。

て、人口一万人、世帯数三千五百、五十三の集落があります。さて、当地域は、人口・世帯規模が小さいため、収益性が低く、また、面積が広いため、設備構築費用が高くなるといったことなどから、情報通信の手段となる高速のインターネットやケーブルテレビなどの民間事業者によるブロードバンドサービスの提供が遅れています。

また、テレビ放送の受信については、地理的に山間部であるため、協調アンテナを設置する集落が四十地区あります。しかし、それでも受信状態が十分でない地区が多数あります。ご承知のように、現在のアナログ放送は、平成二十三年七月二十四日までに終了し、地上デジタル放送へ完全移行されるため、その対応が迫られています。

このように、御津地域は情報通信・放送においては、条件不利地域となっておりますが、今年度、御津地域高度情報化事業の実施により、ついに、御津にケーブルテレビがやってきます。

これにより、インターネットなどの情報通信サービスの提供、地上デジタル放送に対応したケーブルテレビによる難視聴地域の解消のほかに、身近な情報なども提供されるようになります。大変、楽しみにしております。

彦崎小学校区 安心・安全ネットワークで 地域力の集結を!!

灘崎町区長会 西植松区
区長 今中 慶一

灘崎町が岡山市に合併して二年と四ヶ月を経過し、合併特例区としての新市建設計画事業も財政難のなかで着々と進められていることが、「灘崎町合併特例

区協議会だより」で報告されております。岡山市民としては各種団体や行政とのかわり方が以前より広くなり、岡山市役所・岡山市南警察署・岡山市西税務署等市内中心地に行くことが増えたようです。市民サービスにおいては「ゴミ袋の有料化」・「集会場の帰属化」・「連合町内会との合併」・「消防団の支援体制」・「救急消防の広域連合体制」等の調整が必要です。

このような時期であります「防災」・「防犯」・「環境」・「福祉」・「健康」を事業活動計画に掲げ、「小学校区単位の地域各種団体」を結集した彦崎小学校区安全・安心ネットワークを立ち上げようと、各地区の明るい街づくり協議会を中心に三十四団体の代表者の賛同を得て、安全・安心ネットワーク構築支援事業補助金の交付申請を七月二日に岡山市に行いました。市民協働による地域力が試される時代がこの町にもやってくるわけで、日頃からの「ご近所との連携」や「声かけ・鍵かけ・心がけ」の実践活動の成果が持続的に評価されることとなります。

子どもの見守りは「灘崎西部地域ご近所スクラム隊」(百二名)が彦崎小PTAと協力して登下校の見守り、安全マップの作成、「灘崎地区青少年育成協議会」の各部会での灘崎中学校との連携活動と「青色回転灯パトロール」(七台)による「夜間パトロール」で「声かけ」を実践し、地域の安全と犯罪の抑止に寄与しています。おはよう・ただいまのあいさつは、今では、子どもから声がかかるようになり、「いつもありがとう」のお辞儀もできる地域となりました。彦崎駐在所管内の公然わいせつ事案はゼロとの報告が「防犯連絡会議」(三ヶ月に

一度)であり、西植松地区町内会で南署管内トップの公園の青色防犯灯は設置一年経過しましたがいらら感を感じないよう、関係者が見学に来られ、今では倉敷市の周辺にも拡大しています。

環境美化活動では郷内川のアダプト事業を県と市と契約して取り組んでいます。自動車の放置・落書き・自転車の放置などについても「割れ窓理論」を実践して、行政と連携体制で処理していただいています。

さらに公園愛護委員会を岡山市に申請し、地区民全員参加による年二回以上の草取り・植木の剪定・花いっぱい運動を実践し「道端に落ちていたゴミを拾うのは、そのひとの最も美しいファッションである」を区民の行動指針とし、「ひとり半径3mの周りから環境美化運動」を習慣化する運動を展開しているところ。県道のポイ捨てタバコを拾う方や自分の家の前の溝や道路・歩道をいつも清掃してください。子どもからは「ポイ捨てやめて。私たちの町をきれいにしましょう」のポスターを自主作成、「自主パトロールのおじさんありがとう」の作文がコンクールで入選、あ

さらに公園愛護委員会を岡山市に申請し、地区民全員参加による年二回以上の草取り・植木の剪定・花いっぱい運動を実践し「道端に落ちていたゴミを拾うのは、そのひとの最も美しいファッションである」を区民の行動指針とし、「ひとり半径3mの周りから環境美化運動」を習慣化する運動を展開しているところ。県道のポイ捨てタバコを拾う方や自分の家の前の溝や道路・歩道をいつも清掃してください。子どもからは「ポイ捨てやめて。私たちの町をきれいにしましょう」のポスターを自主作成、「自主パトロールのおじさんありがとう」の作文がコンクールで入選、あ



灘崎西部地域ご近所スクラム隊

あくなき「創新」... 人と社会のために、もっと、化学でできること。

kuraray
http://www.kuraray.co.jp/

株式会社 クラレ 岡山事業所 〒702-8601 岡山市海岸通1-2-1
TEL.086-262-0111(代表)

「共生」と「豊かなふるさとづくり」

岡山市大供表町一
岡山市農業協同組合
代表理事組合長 堀川 進

DoCoMo 2.0

株式会社 ニシテック
〒703-8216 岡山市栄4-2-1 TEL.(086)279-7253 FAX.(086)278-3136

業務内容

- 中間処理業(破碎・圧縮・焼却) 2施設有り(古都宿・草ヶ部) 持込可
- リサイクルセンター(草ヶ部)
- 産業廃棄物収集運搬業
- 特別管理産業廃棄物収集運搬業
- 一般廃棄物収集運搬業

みんなで咲かそう **児島湖花回廊プロジェクト**

植樹・育成 サポーター募集

みんなの手で児島湖周辺に3,000本の河津桜を咲かせよう。植樹、育成活動にご参加・ご協力いただける方を募集しています。目標 1,000名! 植樹祭は11月上旬に行います。

【河津桜】開花時期が、2月上旬から3月上旬まで、約1ヶ月にわたって次々に咲く早咲きの桜です。鮮やかなピンク色で大きめの花が魅力です。

■お申し込み・お問い合わせは 児島湖花回廊サポーターズクラブ事務局 [DOWAエレクトロニクス岡山株式会社内] 〒702-8506 岡山市海岸通1丁目3番1号 TEL.086-262-2911 FAX.086-262-1033

【主催】DOWAホールディングス株式会社
【共催】岡山地区 DOWA グループ各社
【後援】岡山県、岡山市、岡山市公園協会、中国銀行山陽新聞社、RSK山陽放送、OHK岡山放送、TSCテレビせとうち、oniビジョン

いさつのは声は子どもから先に「明るい声と元気な笑顔」で交わされている町中です。

おかやまアダプトに

応募して

建部町区長協議会 品田区

区長 葛原 正義

品田区は戸数三十二戸の建部町の中でも小さい区である。旭川が集落の周りを弧を描いて流れ、上手に旭川第二堰堤、下手に旭川第二発電所がある。集落の下手の対岸には建部町B&G海洋センターがあり、建部町総合グラウンドがある。このグラウンドの上、百mのところ品田橋が架かっている。これが品田区の玄関口である。

一昨年岡山国体があり建部町ではカヌー競技が行われた。その際建部町は河川周辺の環境整備に努めた。こういったこともあって昨品田区では環境美化活動として品田橋上下の堤防も含めて河川敷の環境美化活動に取り組み、ごみ拾いや草刈りなど年五回の作業をした。

今年もこの活動を続けようと品田区ボランティアの会を作り毎回参加しなくても都合のつくときだけでよいかと住民に参加を呼びかけたところ三十二人集まった。

そこで早速おかやまアダプトに応募し、過日環境美化活動に取り組み団体として認定され、五ヶ月末頃一回目の活動を十三人の会員の参加で品田橋周辺を二時間余りかけて堤防や河川敷の草刈りやごみ拾いをした。今年も六回の活動計画をし、範囲も広がっている。できることなら一年でも長く続けたい。

住民は年々高齢化していくが今のところ自分たちでできるこ

となら、今ならまだ働けるからと快く活動に参加してくれるのでこの住民の積極的な協力に對して頭が下がる思いである。



旭川河川敷 品田橋付近の環境美化活動

瀬戸町の街づくり

瀬戸町区長会 瀬戸区

区長 片山 正之

瀬戸町は、県東部の行政の要としての長い歴史の幕を閉じ、岡山市と合併し半年がたちました。瀬戸町は二十五の行政区(区長会)で構成され、我が瀬戸区はJR瀬戸駅を中心に行政機関と文教施設と金融機関が集中しています。

瀬戸町役場(現瀬戸支所)、瀬戸税務署、備前瀬戸郵便局、赤磐警察署、福祉センター、福祉の館(下区)、ゆう遊プラザ、江西小学校(江尻区)、瀬戸中学校・瀬戸高等学校・瀬戸南高等学校(下区)、その他銀行等が1km内にあります。今年四月には駅より3km離れた観音寺区に環太平洋大学(二学年三百名の四年生大学)が開校され区内に大学寮(百十名)を含め百三十名余りの学生が居住しています。

一方、JR瀬戸駅は明治十二年に開通以来、岡山県東部地区の物流拠点として県東農産物の

出荷・地域の人々の交通手段として寄与し、車社会の現在においても周辺(赤磐市の大型団地、平島地区の住宅等)の住民の通勤・通学手段として一日四千五百人前後の乗降客で賑わっています。しかし、駅周辺の諸整備は種々の要因から殆ど具現化されず今日に至っています。

他方、区内整備は老舗としての商店街と車社会対応のスペースを確保した開発が困難であったことと、周辺地区(平島地区・赤磐市下市地区)の開発が進んだことにより、昼間就業人口に對して、飲食を主とした商業施設が不足しています。瀬戸区は瀬戸町の中心ということもあって古くから市街化区域に指定され、前述の諸施設と共に、住宅・アパートが多数建設され、自然用水の役目をもった農地が激減し、近年、駅前水路の氾濫による水害が頻発しています。

この様な現況下での合併により、行政(合併協議事項)による防水対策(導水管)・瀬戸駅前整備対策の早期実現により、これまで以上に安全・安心の街づくりの実施を目指していきます。また、四年後には九百名の増加になる大学生を含め、行政機関・文教施設の物心両面のインフラ



瀬戸町の街並風景

作りを区として積極的に推進していく予定です。

区内の地権者のご理解・ご協力により県道周辺の土地開発を大型デベロッパーと取組み商業施設の建設を要請する所存です。大学との地域交流を計画し(具体策は今後協議)、明るい・活気ある街づくりを目指していきます。

合併を機に「温故知新」の観点から瀬戸町は新しい魅力溢れる街づくり、岡山市の東玄関口としてふさわしい街づくりを、岡山市連合町内会の協力をいいただきながら目指していく所存です。岡山市連合町内会の皆様、今後ともご指導・ご鞭撻の程宜しくお願いいたします。

視察研修報告

那覇市自治会長会連合会

視察研修日誌

岡山市連合町内会

副会長 黒田 智昭

平成十九年七月八日、常任理事会一行九名は、薄曇の神戸空港を離陸した。快適な二時間のフライトの後、視界に入った戦闘機の姿に基地の島を実感し、嘉手納、普天間の住民のことが頭をよぎった。十二時三十分那覇空港に到着し、昼食後、那覇市内にある世界遺産の識名園(王家の別邸)を見学した。太平洋戦争により壊滅的な破壊を受けたが、昭和五十年から二十年の歳月をかけ、今日の姿を取り戻したという。庭園内は沖縄特有の石灰岩を敷き詰めているため、歩きにくく、痛さに悲鳴も聞こえた名園見学であった。夕食のため、三々五々と国際通りに出か

けた。有名な繁華街である。沖縄の現状を知るまたとない機会であると期待したが、米兵の姿はなく、観光客で賑わう通りであった。七月九日、ホテルから歩いて五分の那覇市役所庁舎を訪れた。那覇市自治会長会連合会具志会長ほか役員の出迎えを受け、早速、調査事項の確認や意見交換を行った。自治会の生い立ちや組織の現状から、単純に比較するのは難しいが、それぞれに知恵を出し、自治会加入対策等を講じ、包括的な住民自治組織を目指して努力されていることを強く感じた。

特に、那覇市役所と那覇市自治会長会連合会が協定を結び、家庭用廃油の拠点回収を七月から実施し、石油代替エネルギーとして活用するという。この取り組みは、協働のまちづくりのモデル事業として全国の注目を集めることであろう。費用対効果はどうかという質問に対する回答からも、事業成功への自信が満ち溢れていた。予定の時間を超過して会議を終え、午後三時十分、那覇空港を出発し、午後五時十分、神戸空港に到着、高

ご葬儀・ご法要

さくら祭典

県南にひろがるさくらホール

あかいわ 086 956-1177	ひょうし 上道 0120 23-6888 0120 16-7788	岡山駅前 0120 23-6888	きびつ 086 234-4500	せとうち 0869 24-2300
-------------------------	--	-------------------------	------------------------	-------------------------

Mercedes-Benz New C-Class www.imagine-c.jp

メルセデス・ベンツ岡山 岡山駅前316 Tel(086)279-2511
メルセデス・ベンツ倉敷 倉敷市中央1300-3 Tel(086)465-7800

メルセデス・ベンツ岡山西 岡山市東区2403 Tel(086)281-3211
メルセデス・ベンツ岡山津山中古車センター 津山市津山137 Tel(0868)23-2163

メルセデス・ベンツ正規販売店 山陽ヤナセ http://www.s-yandase.co.jp/

株式会社キョードー

岡山市栄甘370 (TEL.086-279-1285)

株式会社キョードーフーズ

岡山市浜野4丁目20-6 (TEL.086-264-1500)

代表取締役社長 小川 健

【医療法人未来 事業内容】

津田内科小児科医院
古都の森居宅介護支援事業所
古都の森訪問看護ステーション(リハビリ対応可)
グループホーム 古都の森
介護老人保健施設 古都の森
介護付有料老人ホーム ゆばの郷

お問合せは(086)278-4600

速バスに乗り、無事帰岡した。「百聞は一見にしかず」「温故知新」の旅となった。



那覇市自治会長会連合会を訪問

岡山市連合町内会の動き

- ◎定期総会 (平成十九年六月一日)
 - ◎理事会
 - 第一回 定期総会について (平成十九年五月十四日)
 - 第二回 理事役職候補者の選任について (平成十九年六月一日)
 - 第三回 平成十九年度事業実施計画(案)について (平成十九年六月十五日)
 - 第四回 岡山市の行政区画について (平成十九年八月八日)
 - 第五回 視察研修について (平成十九年九月七日)
 - ◎常任理事会
 - 第一回 定期総会について (平成十九年五月十四日)
 - 第二回 平成十九年度事業実施計画(案)について (平成十九年六月十五日)
 - 第三回 岡山市の行政区画に

◎市長と常任理事会構成員等との懇談会 (平成十九年四月十七日)

◎市長と常任理事会構成員との懇談会 (平成十九年八月二十二日)

◎常任理事会構成員による研修視察 (平成十九年七月八日～九日) 常任理事会構成員九名が、那覇市自治会長会連合会を訪問し住民自治の活動状況等について研修をしました。

◎市長と常任理事会構成員等との懇談会 (平成十九年四月十七日)

◎市長と常任理事会構成員との懇談会 (平成十九年八月二十二日)

◎受賞報告

◎永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰 (平成十九年五月十六日)

◎岡山市関係：十一名

◎岡山市連合町内会長表彰 (平成十九年六月一日)

◎十年以上学区・地区連合町内会長の職にある方またはあった方：二名(表彰状)

◎五年以上学区・地区連合町内会長の職にあり退任された方：三名(感謝状)

◎審議会・協議会等委員への就任状況

◎岡山市や関係団体の審議会・協議会等の委員の就任について次のとおり決定いたしました。

◎会長 兼松 久和

◎岡山市関係

◎岡山市不法投棄防止対策連絡協議会(会長)

◎岡山市民生委員推薦会(委員長)

◎岡山市政令指定都市推進協議会(副会長)

◎岡山市行政区画等審議会(副会長)

◎岡山市総合政策審議会

◎岡山市教育行政審議会

◎岡山市交通安全対策協議会

◎岡山市国民保護協議会

◎岡山市国際交流協議会

◎岡山市観光協会

◎百間川改修促進期成会

◎全国都市緑化おかやまフェア実行委員会

◎岡山県関係

◎岡山県自治会連合会(会長)

◎小さな親切運動岡山県本部

◎日韓首脳会談岡山誘致期成会

◎全国都市緑化おかやまフェア実行委員会

◎犯罪のない安全・安心岡山県づくり検討委員会

◎岡山県青少年問題を考え行動する100人委員会

◎岡山県消費生活懇談会

◎岡山県防災対策条例(仮称)策定検討委員会

◎岡山県市町村消防の広域化検討委員会

◎全国及び国関係等

◎全国自治会連合会(会長)

◎中央防災会議「災害被害を軽減する国民運動の推進に関する専門調査会」(内閣府)

◎高齢者等が一人でも安心して暮らせるコミュニティづくり推進会議(厚生労働省)

◎NPO法人日本防災士機構評議員会

◎副会長 片山 晋

◎岡山県自治会連合会(副会長)

◎岡山子育て条例推進会議(会長)

◎岡山ESD推進協議会

◎岡山市総合政策審議会環境安全部会

◎岡山市行政区画等審議会

◎副会長 黒田 智昭

◎社会福祉法人岡山県共同募金会岡山支会理事

◎岡山市献血推進委員会

◎副会長 遠藤 太郎

◎社会福祉法人岡山市社会福祉協議会理事

◎地域協働学校運営指導委員会

◎常任理事 岡 恒夫

◎岡山市水道事業審議会

◎常任理事 那須 友也

◎社会を明るくする運動岡山市実施委員会

◎常任理事 森本 享

◎岡山市明るい選挙推進協議会

◎常任理事 西谷 萬二

◎岡山市子ども虐待防止ネットワーク協議会

◎常任理事 木元 淳介

◎事業仕分け

◎常任理事 黒住 小弥太

◎岡山県自治会連合会

◎社会福祉法人岡山市社会福祉協議会評議員会

◎理事 廣田 省吾

◎岡山市明るい選挙推進協議会

◎理事 中川 和彦

◎岡山市愛の泉基金運営委員会

◎理事 岡村 耕輔

◎岡山市中央卸売市場開設運営協議会

◎理事 永見 勝

◎岡山市社会教育委員会

◎理事 藤原 浩

◎岡山市青少年育成協議会(副会長)

◎理事 太田 皓義

◎百間川改修促進期成会

◎理事 則安 基直

◎事業仕分け

◎岡山県自治会連合会

◎会計 吉森 旭

◎岡山市国民健康保険運営協議会

◎会計 村田 智美

◎事業仕分け

◎監事 横山 洋

◎ケーブルテレビを活用した安全・安心ネットワークのあり方に関する調査研究会

◎監事 秋山 卓一

◎岡山県自治会連合会

岡山県自治会連合会の動き

◎定期総会 (平成十九年七月二十七日) サンタケベにおいて、役員十七名が出席のもと開催され、平成十九年度事業計画等が承認されました。

一 平成十八年度事業報告及び決算の承認

二 役員承認

三 平成十九年度事業計画及び予算承認

四 自治会等と縁による団体功労者総務大臣表彰及び全国自治会連合会表彰候補者の推薦

◎県知事との懇談会 (平成十九年八月三日)

◎加入促進活動の動き

四月 玉野市コミュニティ協議会を兼松会長が訪問しました。

◎受賞報告

◎永年勤続町内会長・区長等岡山県知事表彰 (平成十九年五月十六日)

兼松会長が来賓として出席し

出張測定会 体験会

専門のインストラクターが測定・指導します

OSKスポーツクラブ

☎086-252-3111

楽しく集う、生涯学習のひろば

岡山市民文化大学

ジョセイ新聞社

〒703-8236 岡山市国富4丁目4番20号(寺尾ビル1階)

TEL 086-270-7703(代) FAX 086-270-5527

http://www.hallo21.co.jp

E-mail:bundai@hallo21.co.jp

地域がん診療連携拠点病院
災害拠点病院

岡山済生会総合病院

岡山市伊福町1丁目17-18
電話086-252-2211(代表)

回復期リハビリテーション病棟

済生会吉備病院

岡山市高松原古才584-1
電話086-287-8655(代表)

個人葬から社葬・団体葬まで
葬祭ディレクターがお世話いたします。

典礼会館

AI GROUP

0120-666-183

山陽典礼会館
岡山南典礼会館 岡山東典礼会館

ました。

●平成十九年度下半期事業計画
①岡山県自治会連合会への加入促進活動

県内市町村連合組織を訪問するなどして、加入促進活動を行います。

②岡山県愛育委員連合会との懇談会の開催

地域の課題等について意見交換を行い、連携を深めます。

③岡山県婦人協議会との懇談会の開催

地域の課題等について意見交換を行い、連携を深めます。

④全国自治会連合会全国大会への参加

平成十九年十一月四日(日)
⑤全国自治会連合会中四国地区連絡協議会への参加

中四国ブロックの自治会関係者と情報交換を行い、連携を深めます。

⑥全国自治会連合会会長職としての事業

全国自治会連合会に関する理事会等の開催、褒章、総務大臣表彰、全国自治会連合会表彰の選考等を行います。

⑦功労会員の顕彰

褒章、総務大臣表彰、全国自治会連合会表彰、県知事表彰等の推薦を行います。

⑧その他上記の事業の推進に必要な事業を行います。

全国自治会連合会の動き

◎理事会

平成十九年六月二十一日(高知市)

平成十九年九月十日(東京都)

◎常任理事会

平成十九年四月(長野市)

六月(高知市)

八月(神戸市)

九月(東京都)

◎事務局担当者会議

平成十九年六月二十日(高知市)

◎監査褒章伝達式

平成十九年五月十六日(東京都)

全国で十名の自治会関係者が受章されました。

◎地縁による団体功労者総務大臣表彰候補者選考委員会及び全国自治会連合会表彰選考委員会

平成十九年八月二十九日(神戸市)

◎褒章選考委員会

平成十九年九月十日(東京都)

◎自由民主党地方行政調査会

平成十九年五月三十日(東京都)

◎社会福祉法人中央共同募金会との意見交換

平成十九年六月十八日(東京都)

◎高齢者が一人でも安心して暮らせるコミュニティづくり推進会議

平成十九年八月二十八日(東京都)

兼松会長が出席しました。

◎麻生太郎自由民主党幹事長表敬訪問

平成十九年九月十一日(東京都)

兼松会長が自由民主党本部を訪問し、麻生幹事長と懇談しました。

田議長と懇談しました。

◎増田寛也総務大臣表敬訪問

平成十九年九月十一日(東京都)

兼松会長が総務省を訪問し、増田大臣と懇談しました。

◎塩川正十郎元財務大臣表敬訪問

平成十九年九月十一日(東京都)

兼松会長が塩川正十郎事務所を訪問し、塩川元大臣と懇談しました。

◎加入促進活動の動き

兼松会長自ら、組織拡大のため、次のとおり訪問等を行いました。

・四月 糸魚川市地域連合区長会(新潟県)

・五月 久留米市自治会連絡協議会(福岡県)、飯塚市自治会連合会(福岡県)

・七月 佐賀市自治会協議会(佐賀県)、沖縄市自治会長協議会(沖縄県)

●平成十九年度下半期事業計画

①常任理事会

②理事会

③東大阪市自治協議会・赤十字奉仕団創立四十周年記念東大阪大会の開催

開催日…平成十九年十一月四日(日)

場所…ホテルニューオータニ大阪

④未加入府県及び都市への加入促進活動の強化

会長と協議の上、効率的な加入促進運動を展開する。

⑤ブロック会議の推進

ブロック会議の未設立のブロックは、ブロック会議の設立を推進し、地域的な連携を強化する。

⑥会員の更なる資質の向上及び会員への情報発信

会議やインターネットを活用し、本会及び各階級が所属する住民自治連合組織の活動を発表

すること、会員の資質の向上を図るとともに、社会に向けての情報発信を行う。

⑦国への政策提言の要望等

各県連等からの意見・要望に

基づき、町内会・自治会の社会的認知・地位向上に関する諸制度に係る課題の改善等への支援を総務省を通じて要望していく。

高松城跡蓮池を訪ねて

高松城跡蓮池を訪ねて

会報編集委員会副委員長 塩飽 幹廣

梅雨最中の七月十一日、小雨降る高松城跡蓮池を訪ねました。昨年も訪れましたが、なぜか、わずかな開花しかなかく残念でしたが、今年蓮池一面に葉が茂り、ピンク色の大輪の花が多数観察できました。公園管理者の説明によると、公園に池を設置する時、地中から出土した古来蓮の種を発見、これを増殖し現在に至ったそうです。

料館にもはいり、高松城水攻めの話も聞きました。この地は戦国時代西進する織田信長の軍勢と毛利軍との主戦場となりました。先鋒役の羽柴秀吉三万の軍勢と一万数千の清水宗治との戦い、いわゆる水攻めは当時奇策であり、十二日間二・六キロの築堤をし、時あたかも梅雨時期、増水した足守川の水を引き入れた作戦でありましたが、竈城一ヶ月余を経て城兵が飢餓に陥ったころ、本能寺の変が起り、秀吉は毛利との講和を急ぎました。

コラム

岡山後楽園の大賀蓮に似た美しい蓮花が雨にうたれ、梅雨の風情を醸し出しており後楽園より遙かに広い、立派な蓮池でした。また、公園内にある歴史資料館には連日地域



高松城跡蓮池

編集後記

岡山市も面積約七百九十平方キロ・世帯数約二十八万・人口七十万人を超え政令市に向けての諸準備も日々進められ、何かと忙しい気もするこの頃ではありますが、一方で将来に向けての新しい岡山市のスタートかと考えると気持ちも新たとなります。

お目とおし頂き、町内会・自治会のみならずの活性化につながればと期待しています。終わりになりましたが、ご寄稿下さいました方々、ご協賛下さいました企業各社に心からお礼申し上げます。

このような中で、岡山市連合町内会会報第十号の発行ですが、本号一面の記事にもありますように、町内会・自治会の活動の多様性への対応や町内会・自治会の地位向上

【編集委員】
片山 晋 國富 雅之
塩飽 幹廣 池田 太郎
赤木 實男 吉田 勝則

編集委員長
片山 晋

訃報

幡多学区連合町内会会長松本友彦氏が平成十九年八月十六日に逝去されました。謹んで哀悼の意を表します。